

## 『第 31 回ビデオレンタル店実態調査』について

マーケット調査委員会（森口和則委員長 松竹栞）は、本年6月に31回目となる「ビデオレンタル店実態調査」を実施し、この度その結果を『第31回ビデオレンタル店実態調査報告書』としてまとめました。

以下に、報告書の中から抜粋して「調査結果の概要」と「各調査項目の平均値」の表をご報告いたします。

なお、本報告書（A4版、34頁）は、一般の方にも有料で頒布しております。詳細につきましては、広報課上田または倉橋まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以 上

### 第 31 回ビデオレンタル店実態調査

#### <調査の実施概要>

調査対象	JVA レンタルシステム加盟のレンタルビデオ店 (ネットレンタル及び自動レンタル機器によるレンタルを除く)
調査時期	2017年6月
調査方法	郵送アンケート方式
調査対象期間	2016年6月～2017年5月の1年間
調査票送付数	2,149票
有効回答標本数	430票 (有効回答率 20.0%)
調査主体	一般社団法人 日本映像ソフト協会
集計分析	株式会社 文化科学研究所

#### <調査結果の概要>

##### ● 月平均のレンタル総売上は 464.4 万円、前年比 89.2%と大幅減

レンタル面積別でみると、100坪未満の中・小規模店は前年比 90.9% (424.8万円)であったのに対し、100坪以上の大規模店は前年比 88.2% (552.0万円)とやや大きい落ち込みがみられた。

売上規模別店舗構成比をみると、400万円未満が 30.5%から 42.5%に上昇したのに対し、600万円以上が 29.6%から 18.5%に減少している。

DVD レンタル月平均売上金額が 441.1 万円、ブルーレイレンタル月平均売上金額は

25.0 万円で、これまで上昇傾向であった BD が特に中・小規模店を中心に大きく減少したのが特徴的な変化である。

● **貸出料金は全体的に下げ止まり感がみられるが、中期的な DVD 貸出枚数の減少傾向に加え、今年度は BD の貸し出し枚数も昨年度より減少**

DVD 貸出枚数は 2013 年をピークに減少傾向にあり、月平均貸出枚数は前年比 90.1% の 28,482 枚となった。また、これまで一貫して伸びていた BD の貸出枚数も減少し、前年比 87.6% の 1,273 枚となった。一方、貸出金額単価をみると、新作 1 泊 2 日の平均は 347 円という結果になった。旧作の 1 週間料金は 123 円で前年比較±0 となり横ばいである。

● **仕入の金額は減少、1 枚当たりの単価も下落傾向である**

DVD レンタルの仕入動向を見ると、月平均仕入金額は 165.1 万円で前年比 94.2% と 5 年連続で減少傾向であるのに対し、月平均仕入枚数は 2,313 枚と増加した。1 枚あたりの仕入単価は、月平均仕入金額が最も高かった 2011 年は 1 枚あたり 2,247 円であったが、今年は 714 円まで低下しており、昨年の 833 円と比べても 14% 下落している。これは、レベニューシェアリング方式を導入する店舗の比率の高まりならびに導入条件の多様化・複雑化が引き続き背景にあるとみられる。

● **ブルーレイレンタルの展開は DVD と比べ小規模な展開が続く**

BD レンタル実施率は 97.9% で 7 年連続の増加となり、レンタル部分の面積規模別に見ても 100 坪以上の大規模店で 98.6%、100 坪未満の中・小規模店でも 97.6% といずれも 95% を超える割合で実施されている。ブルーレイの平均在庫は 2,055 枚で同 104.6%、月平均仕入枚数は 72 枚で同 107.5% と拡大する傾向にあるが、月平均貸出枚数は 1,273 枚で前年比 87.6%、月平均売上は 25.0 万円で同 89.3% だと調査以来初めて前年を割り込む結果となった。DVD と比較しても、在庫数で 3.6%、月平均貸出枚数で 4.5%、月平均仕入枚数で 3.1%、売上金額で 5.7% に留まっており、実施規模は DVD に比べるとまだ小規模に留まっている。

● **平均会員数は減少傾向である**

平均会員数は前年比 94.3% の 14,568 人となった。会員の男女比は、これまでと同様に男性 6 割：女性 4 割といった比率に大きな変動はないが徐々に女性比率が上がっている。年齢別の会員構成比率を見ると、15 歳未満から 20 代後半の構成比が全て減少しており、30 代以上の構成比がすべて増加している。